

災害ボランティアセンターの運営

事業概要

- 【災害時】
 - ・市災害対策本部等との連携により、被災者のボランティアニーズとボランティア希望者のマッチング
 - ・ボランティアによる避難所支援や被災家庭の掃除・片付け等の各種支援活動の実施
- 【平時】
 - ・総合防災訓練、研修会等への参加
 - ・災害ボランティアセンター受付マニュアルの見直し

東日本大震災時の対応

	対応状況
開設期間	H23.3.14～H23.5.31(79日間)
開設場所	八戸市総合福祉会館(根城八丁目8-155)
ボランティア募集期間	H23.3.14～H23.3.18、H23.3.21～H23.3.28
ボランティアニーズ受付	H23.3.17～H23.3.25、H23.4.21～H23.5.31
実施状況	<ul style="list-style-type: none">・登録者数 1,262人・対応件数 412件・延べ実働者数 2,392人
運営スタッフ	<ul style="list-style-type: none">・八戸市社会福祉協議会・県内社会福祉協議会応援職員・災害ボランティアネットワーク八戸構成団体 (市、災害ボランティアコーディネーター連絡協議会、市民ボランティアサークル「いのちの輪」)など



ボランティアセンター



支援活動の様子



総合防災訓練

自主防災組織の活動支援

事業概要

災害による地域での被害を最小限に留めるための地域住民による自主防災組織の結成・活動支援及びリーダー育成支援

◎自主防災組織への支援

事業名	事業期間 (年度)	内容	実績(～R2年度)
自主防災組織 育成事業補助金	H24～	自主防災組織の資機材整備費用を助成	交付額 60,953千円 (48団体)
自主防災組織 リーダー研修会	H24～	自主防災組織のリーダーなどを対象に防災講演、研修会等を開催	受講者 404名
防災士育成事業	H26～H28	自主防災組織構成員の防災士資格取得費用の一部を助成	資格取得 147名
自主防災組織 活動支援助成金	H29～	自主防災組織が実施する防災訓練等に要する経費を助成	交付額 5,563千円 (122団体)

◎自主防災組織の組織率

	震災前 (H23.2月末)	現在 (R3.3月末)
組織数	71団体	84団体
組織率	64.9%	88.3%



多賀多目的運動場の整備

整備目的

- ・震災の津波による住家被害が市内で最も大きかった多賀地区の活力創出
- ・最大クラスの津波からの被災を免れるための緊急・一時避難施設
- ・地域住民の交流スペースといった日常的な機能も備えた施設として整備

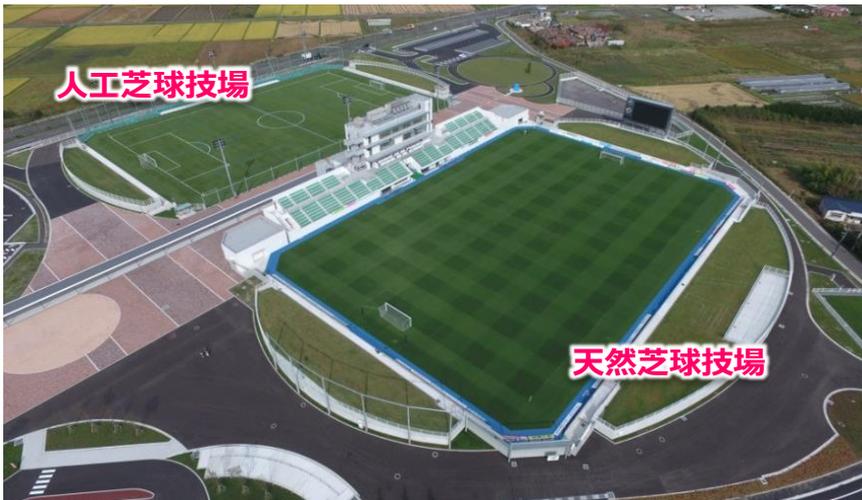
◆施設の概要（平成28年10月供用開始）

- ・管理棟（鉄筋コンクリート4階建）
- ・メインスタンド、芝生スタンド
- ・天然芝球技場（5,200人収容、電光掲示板）
- ・人工芝球技場（1,700人収容）
- ・駐車場、多目的広場 など

管理棟4階（津波避難施設）



想定収容者数
：100人程度
避難階床面高さ
：約12.45m
(想定浸水深7.72m)



長根屋内スケート場の整備

整備目的

防災拠点機能を備えた、スピードスケートの国際大会が開催可能な屋内スケート場として整備

基本設計概要

- 基本方針Ⅰ 長根公園の歴史性を活かし、公園や周辺環境と調和する“屋内スケート場”
基本方針Ⅱ 国際大会への対応、ランニングコストの低減に配慮した、世界水準の“屋内スケート場”
基本方針Ⅲ スポーツを中心とした交流拠点と、多目的に利用できる“みんなのスケート場”

建築計画概要	
面 積	建築面積:22,308㎡、延床面積:26,274㎡
階 数・高 さ	地上3階、地下1階(通路) 高さ:25.4m
観 客 席	固定観客席 約3,000席
リ ン ク	400mダブルトラック(国際基準)、リンク幅16m
リンク開設期間	7月下旬～3月中旬 ※開館は通年
多目的利用 (中地)	年間を通して各種スポーツなどに利用 (リンク解氷時はアリーナ全面で多目的利用)
防災拠点機能	・避難者の一時滞在施設 ・災害支援物資集積所

